

第9回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第9回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月29日～30日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIAパワエレMG主催となるTIAパワーエレクトロニクスサマースクールは、今回で第9回目となりますが、新型コロナウイルスの影響により初めてWeb講義形式での開催となりました。例年通り学生、企業から多くの受講希望があり、受講者は過去最高となる165名となりました。

カリキュラムは、1日目基礎、2日目応用として、11名の講師により各1時間の講義をいただきました。木本教授、赤木教授、松波教授など世界的にも著名な講師だけでなく、パワエレを代表する企業からも、SiCデバイスについて三菱電機の大井氏、GaNデバイスについてパナソニック株式会社の石田氏、パワエレ装置の高密度化について富士電機の鳥羽氏、自動車応用に関してミライズテクノロジーズ(トヨタ・デンソーグループ)の鶴田氏、電力ネットワークについて東芝ESSの田村氏、鉄道応用に関して日立製作所の安東氏に講義をいただきました。

第1日目 基礎(技術史とパワエレ基礎、現状と課題)
第2日目 応用(ワイドバンドギャップ半導体への期待)

各講義後は活発な質疑が行われましたが、講義時間内に質問できなかった受講者には、Webexの各講義スペースにて、チャット形式にて質疑ができるようになっており、講義終了後も9月末まで質疑が続けられました。また、学生に任意で提出いただいたポスターを参加者交流スペースに掲示し、参加者同士の交流の一助としました。

初めてのWeb講義形式での開催でしたが、大きなトラブルなく開催できたことについて、講師の皆様および受講者各位に感謝したいです。

各講師のスペースを設け、講義終了後も1カ月ほど受講者からの質問を受け付けました。

参加者交流スペースには参加学生のポスターを掲示し、相互の交流を図りました。



開催日	2020年8月29日(土)～30日(日)
場所	WebexによるWeb講義形式
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究群
後援	TIA運営最高会議
参加人数	165名 内訳：学生114名(大学院生108名、学部・高専生6名) 社会人51名(TPEC参画企業35名、一般企業13名、公的機関3名)

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:
国立大学法人 筑波大学TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1